

## 育てて未来のJリーガー

徳島県関係のJリーガーによる「徳島NEW YEARサッカーフェスタ2012」が2日、徳島市のシーサイドフットサル徳島で開かれた。G大阪・平井将生(徳島市出身)ら7選手が、5歳から中学生までの約280人にも手ほどきをした。

講師は平井のほか、川崎・實藤友紀、C大阪・阿部一樹、水戸・塩谷司(以上徳島市出身)、大宮・藤本主税(山口県出身)、徳島市立高出・富山・黒部光昭(阿南市出身)、徳島・石川雅博(つるぎ町出身)。約6時間にわたってパス回しやミニゲーム、リフティング大会などに加わり、プロの技を披露した。

参加した子どもたちは、ワンツウ突破やオーバヘッドシュートが決まるたびに歓声を上げていた。沖洲小2年の武田雄大君(8)は「黒部選手のドリブルは速い。僕もJリーガーを目指して頑張る」と目を輝かせた。

フェスタは、昨年発足した徳島出身Jリーガー後援会が企画。Jリーグ観戦に続く第3弾で、今回は県の「徳島育ち競技力向上プロジェクト」の一環として行われた。(阿部研一)

## 県人7選手 プロの技子どもに伝授



子どもたちと握手する徳島出身Jリーガー「徳島市東沖洲のシーサイドフットサル徳島(森江幹也撮影)」

子どもたちが憧れ、目指される存在でありたい。徳島出身Jリーガー後援会発足後、初めて開かれた大規模なサッカー教室。故郷でリフレッシュした7人の選手は、それぞれの目標を胸にステップアップを誓った。

## 7選手 来季の抱負

昨季の出場が26試合だった藤本。シーズン終盤、ベンチから戦況を見守る機会が増えたが「人として成長できたことで、プレーヤーとしての幅も広がった」と話す。7年間に籍した大宮から契約満了を告げられ、来季の去就は未定。J1通算385試合出場(歴代11位)のベテランは「やりがいのある場所で現役にこだわりたい」と、視線はプロ17年目のシーズンに向いている。平井は一昨年、20得点したが、昨季は出場機会が少なく5得点に終わった。ゴールにこだわるとライカーは「競争に勝って点を多く取る。チームで活躍すれば(日本代表監督の)ザッケローニも呼んでくれるはず」と日本代表入りにも挑む。

昨年10月、目標だったJ通算300試合出場を果たした黒部。3月で34歳となる2年連続のチーム得点王は「けがなく全試合に関わるのが目標。1年でも長く現役でやるために技術と精神力を磨き、肉体も維持したい」と意気込む。ルーキーながら35試合でスタメンに名を連ね

た塩谷は「体は大変だが、個人的には満足のシーズンだった。ぜひ徳島とJ1のプレーオフを戦いたい」。

スタメン8試合に甘んじた實藤は、2年目のレギュラー定着に燃えている。J1での競争に勝ち抜く覚悟は十分で「結果を残せば、ロンドン五輪代表は後から付いてくる」と気合十分。

阿部はピッチに立てなかったが、チームの韓国代表GKから多くを学んだ。石川もJ1昇格争いのチームに身を置いたことで心身ともに成長。2人は「勉強したことを試合で出したい」と言葉に力を込めた。

## サッカーフェスタ参加Jリーガー

所属	氏名	年齢	位置	出身校(チーム)	試合数(得点)
【J1】					
大宮	藤本 主税	34	MF	徳島市立高	26(0)
G大阪	平井 将生	24	FW	上八万中一 G大阪ユース	21(5)
C大阪	阿部 一樹	24	GK	八万中一愛 媛ユース	0(0)
川崎	實藤 友紀	22	DF	城南高一高 知大	12(0)
【J2】					
富山	黒部 光昭	33	FW	徳島商高一 福岡大	30(9)
水戸	塩谷 司	23	DF	徳島商高一 国土館大	35(3)
徳島	石川 雅博	21	DF	鳴門高	1(0)

※試合数は昨季のリーグ戦

現役にこだわると全試合出場目標